

広
報

天使びょういん



T E N S H I - H O S P I T A L



撮影：織田 小百合



INDEX

- p2-3 リハビリテーション科
- p4 Inside hospital「耳鼻咽喉科」
- p5 エッセイ「わたしの〇〇」(第23回)
- p6 てんしのたまご
- p7 レシピ
- p8 お知らせ

リハビリテーション科

天使病院 リハビリテーション科では、新生児からご高齢の方までたくさんの患者様が、機能回復やQOL(生活の質)の向上に向けてリハビリに励んでいます。

2024年リハビリテーション実施件数

2025年はスタッフを増員し、早期に必要な量のリハビリを提供できるよう充実を図っています。

理学療法士(PT)	7人
作業療法士(OT)	3人
言語聴覚士(ST)(耳鼻咽喉科所属)	2人

脳血管疾患等リハビリテーション	2,552件
運動器リハビリテーション	7,215件
呼吸器リハビリテーション	1,600件
廃用症候群リハビリテーション	3,441件
がんリハビリテーション	2,060件
摂食機能療法	379件

整形外科疾患へのリハビリ



骨折や痛みを患っている患者様に対して、痛みの緩和、離床、歩行能力の向上、日常生活動作(食事や更衣など)の再獲得、家庭や職場への復帰、趣味活動の再獲得など、個々の患者様の目標に向けた援助を行います。



糖尿病性神経障害へのリハビリ

運動療法が必要な患者様に、ウォーキングやエアロバイクなどの有酸素運動、腹筋やスクワットなどのレジスタンス運動を指導します。運動を始める前や運動習慣のない患者様にはストレッチから開始し、安全かつスムーズに運動の習慣化へと繋がるよう工夫します。



小児セラピー



NICUに入院されているお子さんや、NICUを卒業したお子さんに対して、運動発達の評価や促進など必要な支援を行います。小児科に入院される感染症のお子さんには、呼吸ケアなどを施します。
また、外来では地域の療育に繋がるまでの支援など、必要に応じたりハビリを提供します。



呼吸器疾患へのリハビリ

肺炎や呼吸装置を装着している患者様には、病室で呼吸介助などのリハビリを行います。
離床が可能な患者様に対しては、運動負荷を評価しながら、個々に必要な活動(歩行や日常生活動作など)の再獲得を目指します。



がんのリハビリ

がん治療をされている患者様に対して、体力や運動能力が落ちないようにリハビリします。体調が優れない時は病室へ訪問し、運動や精神面のケアを施します。



上肢機能訓練 日常生活動作訓練



指の運動や物品の操作など、様々な作業活動を用いて上肢機能訓練を行います。また、日常生活動作(食事・更衣・トイレ・整容・入浴など)能力の向上、炊事や掃除などの家事動作能力の向上、職業復帰、趣味活動の再獲得など、幅広い視点で患者様の生活が豊かになる援助をさせていただきます。



認知機能訓練

突然の入院で精神面が落ち着かない、生活リズムが崩れてしまう等の患者様に対して、リハスタッフがお部屋へ訪問し、お話を傾聴しながら散歩へ誘ったり、患者様の好きな作業活動を提供して離床機会を増やします。そして、病棟スタッフと協力しながら、認知・精神機能面の賦活を図り、安心して入院生活を過ごせるよう援助します。



多職種カンファレンス

多職種で個々の患者様の経過や治療方針を確認し、リハビリがより有効に患者様の助けとなるようプログラムの見直しや強化を図ります。



言語聴覚療法

当院では耳鼻咽喉科に言語聴覚士が勤務しております。必要に応じて、嚥下・摂食機能の評価・訓練、言語発達障害に対する言語療法を行います。

家屋評価

コロナ流行後は激減していますが、病院から直接自宅へ退院する患者様に対して、必要があれば家屋評価を行います。患者様とご家族、医療ソーシャルワーカー、退院支援のスタッフ、ケアマネージャー、業者などが同行して患者様宅へ伺い、手すり設置や段差の解消、必要な介護用品やサービスの調整などを行い、安心して帰宅後の生活が送れるよう援助します。



小倉 祐輝先生 (Yuki Ogura)



耳鼻咽喉科について

耳鼻咽喉科では、文字通り「みみ」「はな」「のど」だけではなく、耳下腺や甲状腺、首のリンパ節等の首の様々な病気に対しても診療範囲とし、日々外来及び入院診療と手術治療を行なっております。特に、当科では天使こどもメディカルセンターを形成する診療科の一つとして、新生児を含む小児耳鼻咽喉科・頭頸部外科の診療に力を入れています。当院で行っている手術では鼓膜チューブ留置術、アデノイド切除術、口蓋扁桃摘出術、先天性耳瘻管摘出術などの小児の手術件数が多いです。一方で当院は一般市中病院でもあり、成人患者さんに対して鼓室形成術などの耳科手術から鼻副鼻腔内視鏡手術などの鼻科手術、甲状腺腫瘍や耳下腺腫瘍などの頭頸部の手術まで、良性疾病を中心に行なっております。又、悪性腫瘍の集学的治療に関しては、北海道大学病院と密に連携をとりながら治療にあたっております。

プロフィール

■経歴：2020年3月 福井大学医学部卒業
2020年4月 社会医療法人厚生会 木沢記念病院 初期臨床研修医
2022年4月 JA岐阜厚生連 中濃厚生病院
2023年4月 岐阜市民病院
2024年4月 社会医療法人厚生会 中部国際医療センター
2024年9月 北海道大学病院

■資格：第12回岐阜県中濃地域緩和ケア研修会修了

■ごあいさつ

2025年4月に着任致しました、小倉祐輝と申します。生まれと育ちはどちらも北海道札幌市で、高校卒業まで過ごしておりました。医学部卒業後、母校の隣県である岐阜県にて初期研修および耳鼻咽喉科のキャリアをスタートしました。2024年から北海道大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科教室へ入局させて頂き、地元である札幌市で耳鼻咽喉科医として働く機会を頂きました。皆様に信頼して頂ける医師を目指し、診療を心掛けて地道に研鑽を積んで参りたいと存じます。

■専門分野について

耳鼻咽喉科一般の診療をさせて頂いております。耳鼻咽喉科は鎖骨より上の、脳と眼球を除いた全てが診療範囲となります。とても広いカバー範囲であることもあり、同じ耳鼻咽喉科医であっても専門とされる分野が多岐に渡る所が当科の特徴の一つです。私の場合、幅広く研鑽を積む立場であることから、将来的に専門分野を持つことが目標であります。ですが、現時点におきましても耳鼻咽喉科医として貢献することができる分野は多く、特に小児診療の一貫として、他院からの紹介・治療依頼が多い口蓋扁桃摘出術やアデノイド切除術、滲出性中耳炎の治療を目的とした鼓膜チューブ留置術等の治療におきましては積極的に携わらせて頂いております。又、甲状腺などの頸部手術におきましても私を含め常勤医3名体制で安全な手術が行える様日々取り組んでおります。

■趣味・特技

学生時代は茶道部に所属し活動しておりました。流派は裏千家流です。元々歴史が好きだったこともあり気軽に始めたつもりでした。しかし、いざお稽古が始まると、足の痺れに耐えながら、作法の流れを身につけるという過酷さを感じておりました。ですが、慣れてくると風情を感じながら道具を選び、お茶会を催すことが楽しくなり、卒業まで続けることができた次第です。(写真は福井県の足羽山という場所でのお茶会の一幕です。)興味のある方は是非「日日是好日」という映画をお薦めします。(流派は異なりますが、茶道の楽しさがわかる映画です。)茶道を通して、日々の診療においても心にゆとりを持って行えるように心掛けていきたいです。



■小倉先生ってこんな人♪

体が大きいのでダマって立っているとちょっと近寄りたがたい雰囲気もある小倉先生ですが、実はとっても物腰が柔らかく真面目な先生です。診察中も患者さんのお話をしっかり聞いて真摯に向き合ってくれます。いつも全力なので、全診察終了時はほぼ燃え尽きています。朝一番に外来に来て一番最後まで外来に残っている仕事熱心な小倉先生。たぶんお話好きなので、みなさん気軽に声をかけてあげてください。



てんしびょういん エッセイリレー「わたしの〇〇」

第23回「私の趣味：活字の海に潜ること」

眼科 科長
川田 浩克

私の趣味は読書。小学生のころから本が好きで、図書室で借りられる冊数をギリギリまで借り、夢中で読み漁っていた。中学、高校、大学と多読の習慣は続き、積み重ねれば相当な数になっているはずだ。だが、正直に言うと、内容を鮮明に覚えているのは1%以下。それでも、間違いなく人生に影響を及ぼしていると感じている。心の奥に小さな痕跡を残し、考え方や価値観を少しずつ変えてきた——読書とは、そういう不思議な作用を持っている。



本を読むという行為は、少し魔法めいている。ページをめくるだけで、現実の喧騒から離れ、知らない街を歩き、まだ会ったことのない人物と出会い、時には自分自身の心の奥底に眠っていた感情まで呼び覚まされる。紙に印刷された文字が、どうしてこんなに生き生きとした世界を作り出せるのだろう。これを魔法と言わずして何と言うのか。

読書の魅力のひとつは「世界が増える」ことだ。日常生活で経験できることには限りがある。だが本を開けば、戦国時代の武士にも、宇宙を旅する探検家にも、あるいは悩み多き高校生にもなれる。自分の人生は一度きりだが、読書によって何十、何百という人生を“お試し”できるのだ。

また、読書には「時間をゆっくり味わえる」という贅沢もある。映画は二時間ほどで終わるし、ドラマも週に一話。だが本なら、自分のペースでじっくりと物語に浸れる。登場人物の心の動きや、背景の描写を何度も行きつ戻りつしながら読むこともできる。忙しい日常の中で、こんなにゆっくりと「誰かの人生を覗き込む時間」を持てるのは、読書ならではの楽しみだ。

そして、そんな読書の魅力を存分に感じさせてくれる一冊が、恩田陸さんの『チョコレートコスモス』である。演劇をテーマにしたこの小説は、読者を一瞬で「舞台の熱気」に巻き込む。物語の中心には、役者たちの情熱、才能、そして才能ゆえの葛藤が描かれている。誰かが舞台上に立ち、台詞を発した瞬間、空気が変わり、観客の心をわしづかみにする——そんな奇跡のような瞬間が、文字だけで鮮やかに立ち上がるのだ。



特に印象的なのは、役者たちの演技が「才能」という一言では片付けられないことだ。努力、経験、そして観客の想像力を引き出す力——それらが絡まり合い、舞台上で一瞬の輝きとなる。読んでいると、まるで自分も客席で息をのんでいるような感覚になる。最後のページを閉じたとき、思わず「もう一度あの舞台を観たい」と願ってしまうほどだ。もちろん舞台など存在しないのに。

本の中だけにある舞台を「観た」気になれる——これも読書の魔法のひとつだろう。『チョコレートコスモス』を読み終えたとき、私は本のページをめくる手が、まるで舞台の幕を上げ下ろししているように思えた。観客でありながら、同時に演出家や俳優でもあったのかもしれない。そんな錯覚を与えてくれる小説は、そう多くはない。



てんしのたまご

当院では、様々な分野の実習生を受け入れています。今回は、理学療法士、社会福祉士の実習生に実習体験をお話していただきました。

～ 理学療法士 実習～

<理学療法士を目指した理由は？>

小学生の頃からスキーを始め、中学からの7年間スキーのアシスタントをしていました。大学生になった今も、小学生にスキーを教えています。そこでは怪我をする人も多く、直ぐに対処できるようになりたいと思い、医療従事者である母に相談したところ、理学療法士を勧められました。

<臨床実習の感想・学びについて聞かせてください>

実習が始まるまでは周りから聞くイメージで「実習は辛い」と思っていたのですが、実際は全てが経験したことのないものばかりなので、新鮮でとても楽しいです。

自分にとって今回が初めての病院実習で、患者さんとの関わり方や接し方がとても勉強になりました。落ち込んでいる患者さんに即座に前向きな声掛けをされており、すごいと思いました。人との関わり方は、机上の学習や大学での勉強だけでは学ぶことができず、リハビリを通して人と接する経験を積み重ねていくことで、身についていくものだと感じました。



北海道文教大学医療保健科学部
リハビリテーション学科 1年
湯澤 吉吹(ゆざわ いぶき)



～ 社会福祉士 実習～

北星学園大学社会福祉学科3年の三田遥菜です。

私が社会福祉士を目指したきっかけは、希望を持って生まれてきた子ども達が夢を持って自分らしく生きていけるように、子どもだけでなく、その生活環境にある親や地域社会で困難を抱える方々にも寄り添い、一人ひとりの可能性を支えるサポートがしたいと考えたからです。

今回の実習では、患者さんやご家族の思いに耳を傾ける大切さや、多職種と連携しながら支援を進める医療ソーシャルワーカーの役割について深く学ぶことができました。

この実習で得た経験を活かしながら、一人ひとりに寄り添い、その人らしい生き方を支えられる社会福祉士を目指して成長していきたいです。



北星学園大学
社会福祉学科3年

北海道医療大学福祉マネジメント学科3年の川畑聖花です。私の出身校では福祉のコースがあり、高校生の頃から福祉の道を目指したいという目標がありました。大学に入学してから福祉について学んでいくうちに、特に医療ソーシャルワーカーは患者さんとの距離感が近く、身近に接することでやりがいを感じる機会が多いのではないかと感じ、病院で働きたいという気持ちになりました。私は、支援するという一方的な関係性ではなく、一緒に解決に向けて進んでいくという姿勢を大切にするワーカーになることが夢です。天使病院で実習をさせて頂く短い期間の中で、指導者の方のように患者さんの気持ちに寄り添い、共に考えていくことの出来る姿を目指し、頑張っていきたいと思います。

私の出身校では福祉のコースがあり、高校生の頃から福祉の道を目指したいという目標がありました。大学に入学してから福祉について学んでいくうちに、特に医療ソーシャルワーカーは患者さんとの距離感が近く、身近に接することでやりがいを感じる機会が多いのではないかと感じ、病院で働きたいという気持ちになりました。私は、支援するという一方的な関係性ではなく、一緒に解決に向けて進んでいくという姿勢を大切にするワーカーになることが夢です。天使病院で実習をさせて頂く短い期間の中で、指導者の方のように患者さんの気持ちに寄り添い、共に考えていくことの出来る姿を目指し、頑張っていきたいと思います。



北海道医療大学
福祉マネジメント学科3年

食育time

天使病院 栄養科 藤原

彩り簡単ピザ

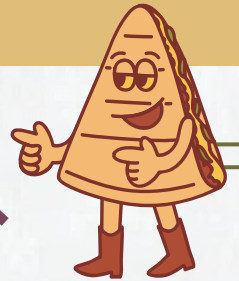
つくる・たべる・まなぶ



我が家の子供たちも大喜び！



Let's cooking



材料

塩味ピザ

- ・餃子の皮…1袋
- ・ミックスベジタブル…適量
- ・枝豆（さやから出したもの）…適量
- ・ベーコン…適量
- ・ピザ用チーズ…適量
- ・ケチャップ…適量
- ・黒こしょう（大人向けにおすすめ）…適量

デザートピザ

- ・バナナ（輪切り）…適量
- ・ピザ用チーズ…適量

POINT

・分量を「適量」にすることで、お子さんと一緒に「どれくらいのせようか？」と考える食育の要素も加えられます！

・ミックスベジタブルや枝豆の彩りを見ながら、野菜の名前や色、味を学ぶことができます。「この色はなに？」「どんな味がするかな？」と会話をしながら作ることで、食への関心や好き嫌い克服にもつながります♪

作り方

- ① 下準備
オーブントースターを温めておく（180～200℃）
枝豆はさやから出しておく
ミックスベジタブルは必要に応じて解凍

- ② ピザを作る
餃子の皮にケチャップをぬる
その上に、ミックスベジタブル・枝豆・ベーコン・チーズをのせる
大人向けには黒こしょうを少しふってもOK！



- ③ 焼く
オーブントースターで焼く（約5～7分）
チーズがとけて、皮のふちがパリッと焼けたらできあがり！



デザートピザの作り方

- ① 餃子の皮にチーズとバナナの輪切りをのせる
- ② オーブントースターでチーズがとろけるまで焼く（約5分）
- ③ お好みでシナモンをふってもOK！

医療機関向け 地域医療連携講演会

テーマ、講演者などプログラムの詳細はホームページをご覧ください。

●日時:10月30日(木) 18:30~20:30
場所:天使病院 東棟 5 階 天使ホール
問い合わせ:
広報渉外課 中元 裕美子
TEL:011-711-0101
FAX:011-741-3662
Mail: public.relations@tenshi.or.jp

患者満足度調査を行います(10/1~10/28)

当院では、みなさまの率直なご意見を伺い、より良い医療サービスの提供につなげるため、毎年「患者満足度調査」を実施しております。

〔実施期間〕
2025年10月1日(水)~10月28日(火)
※Webアンケートの回答期限は、10月31日(金) 17:00まで
〔対象〕
期間中に当院を利用される入院患者さん、外来患者さん
※アンケート方法など、詳細は、ホームページをご覧ください。

糖尿病 予防教室について

オンライン(オンデマンド)方式の糖尿病予防教室を開催しています。
視聴期間は掲載から3ヶ月間です。詳しくは天使病院的ホームページをご覧ください。



▲ ホームページ

スケジュール(2025年10月~12月)

月	タイトル	担当者
10月	動脈硬化の話	医 師 辻
	食べても良いの?惣菜編	管理栄養士
11月	糖尿病と脂肪肝	医 師 吉田
	動けば変わる! 血糖コントロールの第一歩	理学療法士 宗廣
12月	3大合併症~糖尿病網膜症~	医 師 曾根/鈴木
	食べても良いの?~年末年始編	管理栄養士

1月以降の予定については、改めてご案内させていただきます。



表紙の写真紹介

今季の表紙写真 ~織田 小百合さん~

暑かった夏がいつの間にか過ぎ、朝夕は肌寒いくらいになってきました。

夏が終わると今年がもうすぐ終わるような感覚になり、なんだかしんみりしてしまいますが、鮮やかな紅葉を見るとまだまだ今年も楽しむぞ!と元気をもらえます。

北大のイチョウ並木を初めて見たときはきれいさに感動し、そんな自分にびっくりしました。

「〇〇の秋」とよく言われますが皆さんは秋をどのように過ごすか決めていますか?

私は今年も食欲の秋になりそうです(笑)短い秋を楽しみましょう!



編集後記

長かった暑い夏もようやく終わりを告げようとしていますね。

北海道の秋は短いです、表紙の色鮮やかな紅葉をお楽しみください。

また、今回は初めて、未来のなかまである実習生にインタビューしてみました。みなさんの頼もしい姿に感動しました。これからも“てんしのたまご”を時々、ご紹介していきたいと思っています。



広報誌 「天使びょういん」第78号
発行日 令和7年10月15日
発行人 院長 山本浩史
編集 「天使びょういん」編集委員会